広報 なすからすやま

No.164

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City

特集　広報で振り返る平成の足跡…… 2
リゾートぶなからすやまがやってきた…… 6
なすからブランド認証制度に10品目を認証… 8
シリーズ在宅医療のあれこれ・消費者コラム… 9
入学式・入園式…… 11
まちのわだい…… 12
インフォメーション…… 14
烏山高校の紹介・ジオパーク構想だより…… 16

2019
May 5

準備着々と…（4月17日　山あげ烏章館）

5月1日改元
『令和』時代はじまる

そこで、広報で振り返る

平成の足跡

憲政史上初、200年ぶりの歴史的な天皇陛下退位により、平成に幕が下り、5月1日から、「令和」の時代が始まりました。新たな元号は、日本最古の歌集「万葉集」からの引用で、「大化」以来、248を数える元号の中で、日本の古典からの引用は初ということです。

そんな初めて尽くしの新時代を迎えて、今月は、那須烏山市の広報紙を読み返し、平成の31年間の移り変わりを振り返ってみます。

あなたにとって、平成はどんな時代でしたか。そして、新しく始まる「令和」に何を期待しますか。

主な出来事
（※年号は平成）

元年5月・ローラの家完成
6月・南那須町シルバー人材センター設立
・早野巴人顕彰全国俳句大会開催
2年3月・JR烏山線ワンマン化
・富士見台工業団地完成
・烏山東工業団地完成
4月・新南那須地区ごみ処理施設（保健衛生センター）オープン
・東小学校開校
・大桶運動公園オープン
7月・那須南病院開院
8月・下江川中学校新校舎完成
11月・アイスランド迎賓館に現職大統領が来町
3年3月・南那須町全町水道事業完了
5月・南那須町とアメリカ合衆国メノモニー市が姉妹都市提携
7月・山あげ会館オープン
8月・台風12号被害発生
4年3月・向田小学校新校舎完成
8月・荒川中学校新校舎完成
5年4月・水道庁舎完成
・花立峠憩いの森公園完成
5月・山あげ大橋・興野大橋開通
7月・龍門ふるさと民芸館オープン
11月・こぶしが丘温泉オープン
6年3月・つくし幼稚園新園舎完成
7年3月・南那須町新学校給食センター完成
7月・南那須町農業公社設立
11月・烏山町で国民文化祭とちぎ'95開催
9年4月・やまびこの湯オープン
7月・清水川せせらぎ公園オープン
10月・八溝グリーンライン全線開通
・緑地運動公園完成
11月・国道294号「烏山バイパス」開通
・高瀬に荒川橋完成

バブル景気が最高潮に達し、竹下内閣による「ふるさと創生1億円事業」が話題となる中、平成の幕は切って落とされました。海外では、天安門事件やベルリンの壁崩壊、冷戦の終結など歴史的な出来事が次々と起こる節目の年でした。
　この頃、南那須町では、米国メノモニー市との姉妹都市締結のきっかけとなった「ローラの家」が完成。また、烏山町では、那珂川フェスティバルや早野巴人(はじん)顕彰全国俳句大会が初開催されるなど、市民有志による様々な「まちおこし」活動が積極的に繰り広げられました。
　翌2年からは、東小学校の開校を皮切りに、下江川中学校の新校舎、向田小学校新校舎完成、荒川中学校の移転新築と市内の学校が次々と整備されました。
　また、南那須地区の地域医療の拠点として切望されてきた那須南病院の開院もこの頃です。
　主な観光拠点の整備も相次ぎました。3年には、山あげ会館がオープンし、リアルロボット「勘助じいさん」が話題となりました。その後も、龍門ふるさと民芸館、こぶしが丘温泉、やまびこの湯と新たな施設が続々と完成しました。
　インフラ整備も着々と進みました。5年の山あげ大橋、興野大橋開通に続いて、八溝グリーンライン全線開通、国道２９４号烏山バイパスや高瀬橋が開通します。さらに、烏山大橋、神長トンネル、宇都宮街道、仁井田鴻野山バイパス、国道２９３号バイパス、高瀬トンネルと道路整備が進みました。下水道では、10年に南那須町、15年には烏山町が供用を開始しました。
　そのほか、大桶運動公園、清水川せせらぎ公園、緑地運動公園、保健福祉センター、南那須図書館などの公共施設が次々と整備されてきました。

◇

　しかし、世の中はバブル崩壊に続く金融危機の影響で不況が長引き、また、少子高齢化と人口減少などにより経済・財政は縮小し、地方にも暗い影を落としていました。
　このような中、政府は、地方分権一括法による合併特例法の改正で、市町村の合併を推進しました。

右列上から、「ローラの家」が志鳥地内の牧場に完成／むらおこし委員会による「那珂川フェスティバル」は大盛況に／平成の大合併で「那須烏山市」が誕生。
左列上から、東日本大震災では市内にも甚大な被害が発生／「烏山の山あげ行事」のユネスコ無形文化遺産登録を記念した「冬の山あげ」。

10年3月・南那須町下水道供用開始
　8月・豪雨被害発生
　・南那須町と中国青海省畜牧獣医学会が協定を締結
11年4月・防災行政無線開局
12年3月・烏山大橋開通
　4月・介護保険制度スタート
　・保健福祉センターオープン
13年3月・神長トンネル開通
　12月・タウンイルミネーションスタート
14年4月・完全学校週5日制スタート
　・にこにこ保育園開園
　9月・サタデースクールスタート
15年4月・南那須町立図書館オープン
　・烏山町下水道供用開始
　7月・都市計画道路「宇都宮街道」完成
16年2月・仁井田鴻野山バイパス開通
　5月・ウォーキングトレイル開通
17年10月・那須烏山市誕生（2町合併）
　12月・山あげ烏章館落成
18年3月・熊田診療所落成
　・境中学校閉校
19年3月・向田小学校および野上小学校閉校
　10月・こども館オープン
20年3月・東小学校閉校
　4月・（新生）烏山高等学校開校
21年1月・国道293号「志鳥バイパス」開通
　2月・長者ケ平官衙(かんが)遺跡附(つけたり)東山道跡国史跡指定
　3月・興野小学校閉校
　4月・すくすく保育園開園
22年3月・烏山女子高等学校閉校
　12月・国道293号「鹿子畑バイパス」開通
23年3月・東日本大震災で甚大な被害発生
　3月・境保育園・烏山幼稚園・宮原児童館・小木須児童館閉園
　5月・岩子仮設住宅完成
　・八溝そば街道そばまつり開催

この「平成の大合併」で、全国の市町村数は半数近くまで減少しました。

南那須町と烏山町も、17年10月に合併し、那須烏山市が誕生したのです。あれから14年が経過しましたが、人口減少に歯止めがかからず、18年の境中学校閉校に始まり、向田小学校・野上小学校、東小学校、興野小学校、県立烏山女子高等学校、七合中学校が次々と閉校し、27年には荒川中学校と下江川中学校が統合するなど、学校の閉校が相次ぎました。また、公共施設の縮小も次第に進みました。

◇

平成は、近現代日本史の中で初めて戦争がない時代でしたが、様々な自然災害が立て続けに起きています。雲仙普賢岳噴火、阪神淡路大震災、中越地震、御岳山噴火、熊本地震、西日本豪雨…。23年の東日本大震災では、2万人近くが犠牲となり、40万戸以上の住宅が全半壊しました。また、その後の福島第一原発の原子力事故による放射能被害は、8年以上たった今も大きな影響を残しています。

本市でも、人的被害が発生したほか、住宅の全半壊や公共施設の甚大な被害、放射能事故に伴う風評被害など、未曽有の大災害だったことは記憶に新しいところです。

◇

さて、広報紙をとおして平成を振り返ってみましたが、この31年は、まさに波乱万丈の時代といえます。

次のコーナーでは、平成への思いと令和時代への期待を、市民の皆さんに聞いてみました。

24年3月・七合中学校閉校
5月・南那須B&G海洋センターリニューアル
8月・新学校給食センターオープン
10月・デマンド交通試験運行スタート
12月・高瀬トンネル開通
26年3月・JR烏山線にアキュム運行開始
・烏山駅舎・大金駅舎完成
・那須烏山消防署完成
27年3月・荒川中学校・下江川中学校閉校
4月・南那須中学校開校
・大金駅前観光交流施設オープン
28年12月・烏山の山あげ行事がユネスコ無形文化遺産に登録
29年5月・新武道館竣工
30年10月・烏山城築城600年記念行事

街かどインタビュー

私の平成、新時代への期待

「令和」時代に向けた夢

佐藤　篤史さん

平成元年8月8日生まれ、よく末広がりの幸せ者と言われますが、平成はこれまでの僕の人生そのものです。大学進学と同時に上京し、そのまま都内のIT業界に身を置きましたが、昨年1月、地元に戻り、金属加工の家業を継ぎました。

高校時代は、東京で一旗あげたいと思っていました。ITの寵児（ちょうじ）といわれる人が次々に登場した頃です。だから、帰郷したと聞いた人は一様に驚きます。都会生活はそれなりに楽しかったですが、毎日、何かに追われるような忙しさが付きまといました。振り返ると、目指していたものと現実のギャップに気づき、故郷に戻る決意をしました。

今は、技術の取得と経営のノウハウを学ぶ毎日。今更ながら町工場の技術力は、世界に誇れると感じています。それを支える職人を確保し、自らも技術を磨くのが「令和」時代に向けた僕の夢です。それが、寂しさが増す地域の活性化につながるのではないかと思います。

まちおこしに全力で奔走

佐藤　大通さん

那珂川フェスティバル、山あげ祭への石見（いわみ）神楽（島根県）招へい、「烏の本」の発行、「かわら版」の発刊、烏山城案内板の建立…私の平成時代は、商工会活動を通じて「まちおこし活動」に全力で奔走した31年間でした。

始まりは、平成元年の那珂川フェスティバル。責任者として安全面に苦労した思い出があります。

心に残った看護の姿を未来に

内藤　愛子さん

今年は、何事も「平成最後の」と言いますが、平成最後の成人式を実行委員会の一員として企画・運営に取り組みました。懐かしい旧友との活動は、楽しい経験でした。

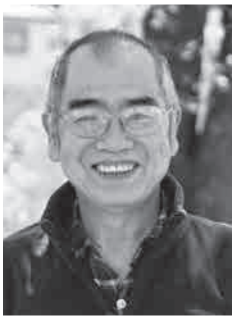
今は、看護師を目指して大学で勉強中です。進路を決めたきっかけは、自宅で療養していた今は亡き祖父が利用していた訪問看護でした。祖父はもちろん、家族に寄り添い、親身になって様々な相談に乗ってくれた姿に感激したからです。それがなかったら、「家で過ごしたい」という祖父の希望も「自宅で看取りたい」という家族の願いもかなえられなかったと思います。

私にとっては、これまでの人生はすべて平成時代ですから、改元といっても特に感慨はありません。でも、これから始まる世の中が平和であることを願っています。そして、あの「看護の姿」が未来の自分に重ね合わせられるよう、看護師としての基礎を学び、現場で経験を積んでいきたいと思います。

寄付集めと並行して、何度も川下りを試し、苦労のかいあって成功したときの感慨はひとしおでした。以来、仲間と共に地域活性化事業に関わり続けてきました。私自身、30歳代で人生でも充実した時期でしたから、可能性を信じて挑戦を続ける日々でした。

今は、以前ほどのバイタリティはありませんが、地域の役に立ちたいという思いに変わりはありません。「令和」時代になっても、若い人が夢を持てるまちに、みんなで協力すれば何とかなるという仕掛けを残していきたいですね。

人生を変えた波乱の平成時代


曽根原　勉さん

30年ほど前、転勤をきっかけに首都圏から市内に移り住んだので、平成はここでの生活に重なります。

このまちを選んだのは、近くに温泉があって通勤できたからですが、バリバリの仕事人生を見つめ直し、第2のステージに移ろうという気持ちも心の片隅にありました。

そんな生活が一転したのは、東日本大震災です。自宅は全壊して再建不能。県内唯一の仮設住宅の代表は、これまでとは全く違った人生でした。苦労もありましたが、勉強にもなり、幸せな時間でした。地域の人々の善意や優しさを実感し、絆（きずな）を強く感じました。

今は、民生委員の代表を務めています。全く経験がなく、介護しながらの忙しい日々ですが、地域への恩返しの意味も込めて、大変だとは思いません。

今、問いかけられれば、私にとって「波乱の平成」ですが、いい時を過ごせました。新しい時代は、一日一日をもうけものと思って生きていきたいと思います。もちろん、地域との絆を大切にしながら…。

介護保険と共に歩んだ平成

黒尾　由実さん

平成元年は、ちょうど高校入学の時です。バブル期の真っ最中で、華やかな都会へのあこがれもあり、首都圏の大学に進学しました。でも、とたんにバブルがはじけ、就職難が頭から離れない学生時代を過ごしました。おかげで、故郷に戻り、今の生活につながっていますから、良かったと思っています。

卒業後は、管理栄養士として病院勤務を経て、平成12年にJAに就職しました。介護保険制度がスタートした年です。以来、ケアマネージャーとして今に至っていますので、私の平成は、いわば介護保険と共に歩んできたように思います。

中でも印象深かったのは、やはり東日本大震災です。出張の途中、トンネル内で遭遇した時のことは、今でも鮮明に覚えています。これを契機に、症状が悪化した介護利用者も少なくありません。

新しい時代を迎えて、災害や少子高齢化、人口減少など心配な面もありますが、安心して暮らせる社会となることを信じたいです。

本物の出会い栃木 アフターDCスタート

「リゾートぶなからすやま」がJR烏山駅にやってきた

▶烏山駅にやって来たリゾートぶなからすやま

「本物の出会い栃木」アフターDC（デスティネーションキャンペーン）のオープニング列車として、4月6日(土)、JR烏山駅に「リゾートぶなからすやま」がやってきました。

DCは、JRグループ6社と地域が共同で取り組む国内最大規模の観光企画で、プレDC、本番DC、そしてアフターDCが3年間かけて実施されます。今年は、締めくくりとなるアフターDCの年で、県内各地で4月から6月にかけて各種取り組みが展開されています。

今回やってきた「リゾートぶなからすやま」は、青森～秋田間を運行するJR東日本のリゾート列車で「リゾートしらかみ『橅（ぶな）』編成」となっています。列車到着後、鉄道ファンや市民は、豪華な内装を見たり、座席に座って乗り心地を確かめたりと、車内を自由に見学しました。

駅前では、運行記念イベントが行われ、市内外から約500人が来場しました。ステージでは、津軽三味線の演奏や烏山高校郷土芸能部による軽快なお囃子（はやし）の演奏のほか、「のぶおばんど」の中島伸雄さんによるミニライブが行われました。また、オリジナル商品を景品としたクイズ大会や車掌アナウンスコンテストが行われ、盛り上がりを見せました。

そのほか、子ども駅長制服体験やヘッドマークの展示、駅前

▲車掌アナウンスコンテスト。

右上：烏山線で使われたヘッドマークの展示。
左上：好評を博した彼処珈琲。
右下：願いを込めてはりか山に和紙を張る参加者。

◀列車の内装を見学や座り心地を体験。

▶ディンプルアートを体験する子どもたち。

「山あげそば」により、限定30食「カレーコロッケうどん」の販売などが行われ、訪れた人々を楽しませました。

さらに、鉄道ファン必見の車両保存基地「那珂川清流鉄道保存会」への無料送迎バスも運行されました。現地では、平成28年3月にJR烏山線を引退したキハ40形やブルートレインなどを見学し、千葉都市モノレール内での昼食を楽しみました。その後、ミニ新幹線乗車やトロッコ運転など、またとない体験をしていました。

山あげ会館周辺で POP UP STORE

アフターDC応援事業として、山あげ会館周辺で那須烏山市観光協会（佐藤邦行会長）とNPO法人クロスアクション（髙橋誠一代表）により「POP UP STORE」が開催され、300人あまりの市民などが会場を訪れました。

山あげ会館では、烏山高校茶華道部の生徒によるお茶会をはじめ、タピオカドリンクやかぼちゃスープを提供する「KANSUKEカフェ」、市地域おこし協力隊による彼処珈琲などがオープンし、訪れた人々をもてなしました。また、屋外の体験ブースは、ディンプルアートや綿あめづくりを楽しむ子どもたちでにぎわいました。

山あげ烏章館では、今年度の当番町「鍛冶町」により、はりか山の山貼り体験が行われました。今回は、和紙に願いごとを書いてはりか山に貼り付けるという特別企画で、50人近くの参加者が思い思いの願いを込め、はりか山へ貼りつけていました。

シリーズ 市の文化財 第96回

県指定有形文化財（彫刻） 松倉山観音堂仏像（大木須）

松倉山観音堂には5体の像があります。室町時代から江戸時代にかけて制作された貴重なこれらの仏像は、すべて観音であったらしく、右扉の裏面には、聖観音菩薩、十一面観音菩薩、千手観音菩薩、馬頭観音菩薩と記されており、聖観音菩薩立像2体、十一面観音菩薩立像2体、観自在菩薩立像1体が確認されています。普段は、観音堂の中に納められており、見ることができませんが、像の高さは、102～190cmあり、どっしりとしたと見ごたえのある像です。

JAなす南 市内小学校に学習教材を贈呈

JAなす南（荒井節組合長）では、市内5つの小学校の新入生、3年生、5年生に学習教材を贈呈しました。平成9年度から始まったこの事業。今年度は、新入生に「ランチョンマット」、3年生に社会科学習資料「とちぎの農業」、5年生に補助教材「農業とわたしたちのくらし」が贈られました。荒井組合長は、「教材を使い、これからの農業について楽しみながら学んでいってほしい」と話していました。

田代教育長に学習教材を贈呈する荒井組合長。

なすからブランド認証制度

10品目が認証されました

本市の特産物など10品目が、「なすからブランド」に認証されました。

なすからブランド認証制度とは、市独自の基準に適合する品質を備えた市の特産物や有能な技術などを「なすからブランド」として認証し認知度を上げることにより、流通や販路の拡大、関連産業への波及効果、新たな地域雇用の促進および地域経済の活性化につなげることを目的としている制度です。

認証の対象は、市内で生産された農林水産物やその農産物の全部または一部を使用した加工品、工芸品、工業品、そのほか市長が認める特産物、技工、技術などで、個人または法人、その他の団体で申請することができます。

有効期間は3年間で、認証を受けた特産物などは認証マークが表示され、各店舗やイベントなどで販売されます。

今年度も9月以降に申請を受け付ける予定です。

市公式ホームページでも紹介していますので、ご覧ください。

■商工観光課　☎0287－83－1115

認定された10品目

中山かぼちゃ
（ＪＡなす南）

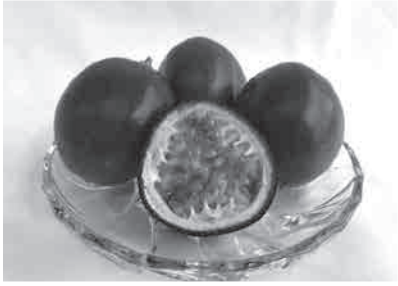
吉葉果樹園のブルーベリー酢
（吉葉果樹園）

ふわどら
（ひらさわ菓子店）

吉葉果樹園のブルーベリージャム
（吉葉果樹園）

山あげ牛
（生産者:髙野悦男さん、取扱者:㈱アド・ワークス）

中山かぼちゃ蒸しようかん
（ひらさわ菓子店）



吉葉果樹園のパッションフルーツ
（吉葉果樹園）

山あげ米
（生産者:平塚英教さん、取扱者:㈱アド・ワークス）

中山かぼちゃまんじゅう
（えちごや丸山菓子店）

中山かぼちゃようかん
（えちごや丸山菓子店）

シリーズ

在宅医療のあれこれ Part13

療養型病床

療養型病床とは、病院の病床は医療法で5つ(一般病床・療養病床・精神病床・感染症病床・結核病床)に分類されています。

その中で療養病床は、主として長期にわたり療養を必要とする患者のための病床となっています。また、療養病床には次の2つがあります。

①**医療療養型病床**:慢性期の状態にあって入院医療を必要とする患者に対するサービスを医療保険で提供する病床

②**介護療養型病床**:要介護認定された患者に対するサービスを介護保険で提供する病床(必要に応じて医療も受けられます。)

療養病床に対して、主として急性期の入院治療を必要とする患者のための病床が「一般病床」です。

◇　◇　◇

高野病院院長　髙野和彦氏の談話

当院の入院病棟は全て療養型病床となっています。

那須南病院や那須赤十字病院などの一般病院で治療した後、意識障害が残っていたり、酸素療法が必要だったりなどで自宅への退院や老人ホームへの入所などが困難な人、また、足腰が弱ってしまい自宅へ帰るまでに長期的なリハビリテーションが必要な人などを主に受け入れています。さらに、ガン末期の人などで状態の悪化により自宅での療養が困難になった人も受け入れていて、長期的な入院も相談可能です。

外来では、通常の診察のほか、自宅への往診も相談に応じています。また、高齢の人に対してケアマネジャーと連携して介護サービスの提案もしています。さらに、訪問看護ステーションと連携して在宅看護の支援も行っています。

また、リハビリテーションは、当院に入院中の人だけでなく、外来患者の人に対しても行っています。他の一般病院で入院中に足腰が弱ってしまった人に対してもリハビリテーションを行っています。

当院は、開設当初より地元のみなさんに寄り添った医療を目指してきました。地域密着型の病院として患者のそれぞれの病気だけでなく、家庭の事情にもできるだけ配慮した診療を心掛けています。

消費者コラム㉖

消費者ほっと♥らいふナビ

実在する機関や企業、家族をかたり、家族構成や資産状況などを聞き出そうとする「アポ電(アポイントメント電話)」と思われる電話に関する相談が寄せられています。本市においても、市職員や放送局職員を名乗り、家族構成や、どの金融機関に預金があるのか、預金の金額などの個人情報を聞き出そうとする電話があったとの相談が寄せられています。

高齢女性が自宅に現金があるか尋ねる「アポ電」を受けた後に殺害された強盗事件が発生するなど、電話で不用意に個人情報を伝えることは大変危険です。下記のアドバイスを参考に、不審な電話から発生するトラブルを避けましょう。

【消費者の皆さんへのアドバイス】

①着信番号通知や留守番電話機能を活用し、誰からの電話か分かったうえで電話に出る!

②心当たりのない電話に出ても「○○です」と自分の名前は名乗らない!個人情報は安易に教えない!

③不審な電話があったら、すぐに家族や警察、消費生活センターに相談を!

また、このような電話による特殊詐欺被害を防止するために、市消費生活センターでは「特殊詐欺撃退ステッカー」を作成しました。

このステッカーを電話機に貼り付けることにより、電話に出る前に「アポ電かも…」など、電話に対する警戒心を持ってもらうことを1つの目的としています。

無料で配布していますので、利用を希望する人は市消費生活センターまでご連絡ください。

那須烏山市消費生活センター(烏山庁舎1階、商工観光課内)
【専用電話番号】0287−83−1014
【受付時間】平日9:00~12:00、13:00~16:30
※土・日曜日及び祝日は「消費者ホットライン☎188(局番なし)」へご相談ください。

シリーズ

公民館講座に行こう！

～講座紹介編②～

今回は、新講座を紹介します。

料理講座

・食事について学んでみよう…学生時代を思い出してみんなで料理を作り食事について学びます。

文化・教養

・旅をもっと楽しむ…旅行をもっと楽しくするための講座です。旅行で役立つ旅の楽しみ方を学びます。

身体ケア

・スポーツ教室…今回のスポーツは「ゴルフ」です。初心者でも安心して参加できる講座で、体力低下の予防や健康づくり、仲間づくりをします。

自分磨き

・おしゃれ度アップ…骨格診断から自分を知って、オシャレの悩みを解消！ほかの自分磨き講座と併せて受講すると、さらに効果的です。

地域活動

・農業体験教室…季節に応じた野菜を栽培・管理して、収穫します。経験豊富な講師に栽培のコツを学びます。

・川漁師入門…仕掛けづくりから実践まで、鮎・鰻・カニの三種の漁法を学びます。

郷土理解

・きのこ鑑定会…夏と秋のきのこの正しい知識を学びます。

・地酒講座…（株）島崎酒造の協力のもと、日本酒の製造工程、地酒の歴史などを学びます。

特別講座

・夏休みやっつけ隊…夏休みの作品づくりのコツを教えます。大人は別講座で、珈琲と金融について学びます。

・住みよいまちづくり講座…健康福祉、防火防災の出前講座の内容を公民館で実施します。

この他にも多数講座を企画しています。お気軽に烏山公民館（☎0287－83－1412）へお問い合わせください。

なすから健康マイレージ事業

当選者に豪華景品を贈呈

市では、「平成30年度なすから健康マイレージ事業」を実施しました。

この事業は、必ず健康診断を受け、市が主催する健康教室などに参加して、5ポイント達成で市内指定施設の500円分利用券または抽選で当たる豪華景品に応募できるものです。

お楽しみ抽選は、川俣純子市長によって行われ、多数の応募者の中から、運動のコースの景品「自転車」には、佐藤洋子さん（野上）が当選しました。

19日(火)には、贈呈式が行われ、川俣市長から自転車が手渡されました。佐藤さんは、「健康診断は毎年行っていたが、事業には初めて参加した。認知症サポーター養成講座に参加して、認知症の人への対応の仕方など、とても勉強になった。今後は、高齢化が進んでいる地域で、自分だけでなく周りにも声をかけ、講座などに積極的に参加していきたい」と話していました。

このほかにも、多くの参加者がブレンダーや布団乾燥機、入浴剤セットなどに当選しました。

川俣市長から
自転車を受け取る
佐藤さん。

入学式 入園式

4月に入り、市内の小・中学校、幼稚園、保育園で、入学・入園式が行われました。

2つの中学校では、少し大きく真新しい制服を身にまとった223人が、5つの小学校では、ピカピカのランドセルを背負った168人が入学。希望を胸に、新たな生活をスタートしました。

幼稚園・保育園でも入園式が行われ、保護者と手をつなぎながらかわいらしい入園児たちが初登園しました。

本番に向け 山あげ祭 準備着々と

7月26日㈮から28日㈰にかけて開かれる「山あげ祭」の準備が、今年の当番町「鍛冶町」の若衆たちにより、山あげ烏章館で進められています。3月から、舞台背景となる「はりか山」の制作を始めた同町。4月に入り、平日の夜間や休日に週2回、若衆や住民が、竹で作った網代という骨組みに、那須烏山市産の和紙を貼り付ける作業を行っています。

4月7日㈰には、無事故でけがなく祭りを終えられるよう、八雲神社で「山あげ祭完遂祈願」(写真上)が行われました。

また、4月21日㈰からは、昨年に続いて、「山描き」を担当する横山亘さん(中央3丁目)が、和紙を貼り終えた「はりか山」に山水などの絵を描き入れる作業を始めています。

祭本番に向け、木頭の三森真悟さんは、「準備はとても順調。若衆だけでなく鍛冶町全員の一体感に注目してほしい」と意気込みを語りました。また、筆頭世話人の齊藤篤志さんは、「自治会や子どもたちの手伝いはとてもありがたい。今年の鍛冶町は伝統を守りつつも、新しいことに挑戦できると特に感じている。小さな町内ですが、他の町にない鍛冶町の良さを感じてほしい」と話していました。

今後は、舞台装置などの調整や準備を進め、7月初旬にリハーサルを予定しています。

はりか山に和紙を貼る作業をする若衆。

①烏山中学校　②七合小学校　③南那須中学校
④烏山保育園　⑤ゆうゆうランド那須烏山園
⑥烏山みどり幼稚園　⑦つくし幼稚園　⑧境小学校
⑨みらいのKaze保育園。(旧にじいろ保育園)

街に賑わいを興す会

着物で街中桜散策と神社・お寺の御朱印巡り

4月13日(土)、街に賑わいを興す会により、「着物で街中桜散策と神社・お寺の御朱印巡り」が開かれました。

当日は、市内外から42人が参加し、着物を着て街巡りを楽しみました。

烏山公民館を出発した一行は、宮原八幡宮を見学した後、歴史を学び、午後には、善念寺で法話を聞いたほか、清水川せせらぎ公園や山あげ会館、八溝県民休養公園など市内の桜スポットを巡り、春の那須烏山を堪能しました。

さくら市から参加したバレンシアノ・ダイアンさんは、「以前、秋に行われた街巡りには2回参加したことがあったが、春の街巡りに参加するのは初めてだったのでとても楽しかった。アメリカから日本に来て、普段着物を着る機会が少ないので、特別なイベントだと思う。ぜひ、また着物を着て巡りたい」と話していました。

宮原八幡宮を散策する参加者。

烏山山あげ保存会芸能部会の子どもたちが

浅草で「将門」を披露

3月30日(土)、東京都の浅草神社で開催された「第11回浅草こども歌舞伎まつり」に、烏山山あげ保存会芸能部会の子どもたち15人が出演しました。

この催しは、歌舞伎文化をテーマにしたまちづくりを進めている東京都台東区の「奥山おまいりまち商店街振興組合」が主催したものです。

今年で9回目の出演となる烏山山あげ保存会は、舞台衣装を身にまとい、奥山おまいりまち商店街を練り歩いて上演告知などを口上しました。そして、国内外から多くの観光客で賑わう中、浅草神社神楽殿を舞台に2回、「将門」を上演しました。

子どもたちからは、「もっと上手く演じられるよう頑張りたい」、「ぜひ本番の山あげ祭にも来ていただきたい」など、山あげ祭本番に向けた意気込みが感じられる感想がありました。

大勢の観客を前に堂々と「将門」を上演する子どもたち。

歌や舞踊の成果を披露

チャリティー桜まつり

4月7日(日)、大金温泉グランドホテルで、那須烏山市歌謡協会(高田悦男会長)による「チャリティー桜まつり」が開かれました。

これは、チャリティーイベントとして、年に2回行われており、今年で27年目を迎えます。

当日は、73組の参加者が歌や舞踊など練習の成果を披露。また、友情出演やゲスト出演など、地域で活躍する歌手も登場し、会場は盛り上がりを見せました。

高田会長は、「イベントをとお

練習の成果を披露する参加者。

まちのわだい

◇「広報なすからすやま」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報広聴グループ　☎0287-83-1112

真の平和を願い
二地区合同で戦没者追悼式

日清・日露戦争から第二次世界大戦までの戦火で尊い命を失った戦没者を追悼する「戦没者追悼式」が、4月15日(月)、南那須公民館で開かれました。

昨年までは、烏山地区と南那須地区に分かれ、開かれていましたが、今年度から主催が市となったことから、初めて合同で行われることとなりました。

追悼式では、戦没者に対し黙とうが捧げられたほか、川俣純子市長により「一日も早くこの世から争いを無くし、真の平和を求め、努力することが私たちに課せられた責務だと思っている」と式辞が述べられました。

那須烏山市遺族会会長の小森和昌会長は、「日本国民として、再び悲しみの歴史を繰り返さない決意を固くしなければならない」と、沼田邦彦市議会議長は、「戦争の悲惨さと平和の尊さを風化させることなく未来へ語り継ぎ、明るく豊かな那須烏山市を目指して一層の努力を重ねることを誓います」と追悼の辞を述べました。

平和を願い白菊を献花する参加者。

その後、市民や遺族など約180人が、598柱の英霊に平和を願い白菊を献花しました。

川俣市長に冊子を手渡す大金さん。

那須烏山報徳会会長の大金さんが
烏山報徳仕法余話を発刊

那須烏山報徳会会長の大金正さん(初音)が、「烏山報徳仕法余話」を発刊しました。

これは、あまり光が当てられていない、二宮金次郎が成人した後について書かれているもので、同会の会報「積小為大」に連載された「烏山仕法　人と遺跡」や「現地視察記録」などが収録されています。

発刊を記念し、4月12日(金)、川俣純子市長を訪れた大金さんは、「大人になった二宮金次郎さんの考え方をより多くの人に知ってもらい、日常生活へ活かしてもらえればと思う」と話していました。

同冊子は、市内小・中学校および図書館に寄贈されたほか、今後、山あげ会館で販売が行われ、売り上げの一部が、災害義援金へと寄附されます。

して、介護などを中心とした社会福祉に少しでも役立てればと思う。また、みなさんとの絆をつくり、交流することで、元気や健康づくりにつながっていくと嬉しい」と話していました。

第20回梅まつり
満開の梅に春の訪れを感じる

3月21日(木)、なす南広域農機センターと中山梅園で、恒例の「第20回梅まつり」が開かれ、約500人の花見客でにぎわいました。

これは、生産農家やJAなす南、市などで組織する那須烏山市梅まつり実行委員会(笹沼英夫実行委員長)が梅の生産復興や地域活性化につなげようと毎年この時期に開催しているものです。

梅まつり会場では、梅干しや寒ざらしそば、つきたて餅、地元農産物などの販売が行われたほか、抽選会や日光さる軍団による猿まわしなどの催しも行われ、盛り上がりを見せました。

梅園では、約2ヘクタールの斜面いっぱいに広がった梅が満開を迎え、梅の花の甘い香りとともに訪れた人々を楽しませました。

梅の花を楽しむ来場者。

好評を博した猿まわし。

おめでた

赤ちゃん名	（保護者）	住所
髙林明廉（あれん）	（直樹・ありさ）	大里
金原朝陽（あさひ）	（弘・由香理）	宮原
木村虹心（にこ）	（弘幸・美幸）	大桶

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果

●第9回那須烏山市民交流親善グラウンド・ゴルフ大会（3月17日(日)、烏山運動公園）

【4ラウンド男性の部】▽優勝：水井守（野上）　▽準優勝：永山英之助（大木須）　▽第3位：高徳宗光（滝田本郷）　**【女性の部】**▽優勝：高久サト子（滝田）　▽準優勝：高徳里子（蛇姫会）　▽第3位：永山由美子（大木須）

ご寄附ありがとうございます

■ふるさと応援寄附金

星巧弥様（神奈川県横浜市）、高橋聡様（神奈川県横浜市）から各1万円、匿名希望者様8人から計10万1千円が本市に寄附されました。

荒川南部地域保全会が
生きものマップで優秀賞を受賞

荒川南部地域保全会（久郷道泰会長）が、「田んぼまわりの生きものマップ・とちぎの豊かな農村づくり写真コンテスト」で優秀賞を受賞しました。

コンテストは、栃木県農地水多面的機能保全推進協議会が、豊かな農業・農村の保全の重要性を多くの県民に知ってもらい、保全活動を促進するために開いているものです。

マップは、生き物調査の参加者と同会が作成したもので、猿久保地域に生息している生き物が子どもたちによって生き生きと描かれているほか、生きもの調査の様子が写真で紹介されています。

同会と調査参加者で作製した生きものマップ。

市農業委員会が
農業新聞の普及推進で全国第6位

川俣純子市長を表敬訪問し、受賞を報告する越雲会長。

市農業委員会（越雲宏会長）が「平成30年普及拡大特別優秀農業委員会」の「増加部数の部」で第6位を受賞し、4月11日(木)、東京都で開かれた平成31年度全国情報会議で表彰状が授与されました。

これは、平成29年度の農業新聞平均部数86.67部が平成30年度に111.83部となり、25.16部の増加を達成したことが認められたものです。

市農業委員会では、全国農業新聞の普及月間となる10月～11月にかけて、「新規購読者確保」など、精力的に推進活動を行いました。また、平成30年5月の改選後も、新たな購読者確保を積極的に呼びかけたことが成果へとつながりました。

編集後記

○4月は桜が咲く中、雪が降りました！私も写真を撮りに外に出たのですが、寒くて寒くて外に長居できませんでした。もう風の子じゃないですね（笑）でも、後半はぽかぽか陽気で過ごしやすい日が続きました。あったかい日にはお昼寝や散歩をして春風にあたるのがたまらないですね。空に浮かんだ雲を見るのも楽しいです。なんとなく、パンに見えたり、わたあめに見えたり、ある映画の壁紙に見えたり…（でもやっぱりおいしそう。）

○先日なんと、「寝坊」しました。6時20分に起きる予定がなんと起きたら6時50分。原因は目覚ましのかけ忘れ。30分の寝坊は焦りました。いつものろのろ準備なので急げば遅刻はしないのでよかったですが、やっぱり朝ごはんは諦められません。朝食べないと脳が働かないんですよね。そんな私に祖母がよく言うのが「よく食べるね。いいねぇ」。そうなんです、ごはんもお菓子もよく食べるんです。気づけばわたしも体重が。大好きなのでなかなか難しいですが、まずはお菓子から減らさないと…。

Information

新着図書

南那須図書館　☎0287-88-2748　Fax88-0204
烏山図書館　☎0287-82-3062　Fax82-7566
★図書館HPから新着図書が検索できます。★
http://www.lib-nasukarasuyama.jp/

市の人口

2019.4.1現在
（　）対前月比

人口 25,393(-120)

男	12,604	女	12,789
出生	9	死亡	45
転入	71	転出	154

世帯数 9,344

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

★一般図書★

『元号と日本人』　宮瀧　交二
『家族終了』　酒井　順子
『ビッグ・クエスチョン』　スティーヴン　ホーキング
『チコちゃんに叱られる』　NHK「チコちゃんに叱られる！」
『すごい言い訳！』　中川　越
『人生は美しいことだけ憶えていればいい』　佐藤　愛子
『マリコを止めるな！』　林　真理子
『とめどなく囁く』　桐野　夏生
『呪護』　今野　敏

★児童図書★

『びっくり！？日本史の大事件』　チーム　ガリレオ
『あたまがよくなる！どうぶつクイズ 1ねんせい』　富田　京一
『3分間ミステリー』　黒　史郎
『ぼくらの宝探し』　宗田　理
『ちきゅうちゃん。』　糸井　重里
『あるくくま』　谷川　俊太郎
『あちちあちち』　おかだ　しんご

★CD★

『瞬間的シックスセンス』　あいみょん
『EYE OF THE STORM』　ONE OK ROCK
『LIP』『EYE』　SEKAI NO OWARI
『デュエット大ヒットのすべて』　都　はるみほか
『GRAMMY ノミニーズ2019』　ジャネール・モネイほか
『昭和の湘南サウンド』　オムニバス
『フェルメール　絵の中の音楽』　Vox Poeticaほか

文芸コーナー★

俳句　水野　信一　選

風凪ぐや花木促す春の雨　小針　久子（月　次）
崖ささへ逞しきかな梅古木　古内　晴代（金　井）
うららかや買出しに行く道すがら　塩坂美枝子（南大和久）
乗り換への宝積寺駅春みぞれ　柳　つしま（中　央）

川柳　篠﨑　酔月　選

顔を寄せひそひそ話二三人　森　豊（中　山）
勝って泣き負けて泣いてる甲子園　吉澤　恒子（落　合）
パサパサの土に染み込む春の雨　小川　昌子（向　田）
ひそひそと噂話に花が咲き　五月女佳子（谷浅見）

短歌　滝口　節子　選

天地（あめつち）の間（あわい）はらはら桜散る春の光に雅かさねつつ　三森　純子（中　央）
引出しの「お手伝い券」くれし孫の挙式決まりぬ令和の佳き日　吉澤　紅月（南）
すれ違う車のナンバー読みとらん惚け防止にと散歩の途中　川俣登志子（旭）
処理場の煙は空に直ぐ昇り無風知らせる今日彼岸入り　鈴木　豊（谷浅見）

作品募集
毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ（〒321－0692那須烏山市中央1丁目1番1号）あて、郵送で作品をご応募ください。

安心な暮らしをサポート！
三井住友海上代理店
（有）しおや保険事務所
◇損害保険：自動車・自賠責・火災・地震・使用者賠責
◇生命保険：新総合収入保障・新医療・八大疾病・年金
◆お問合せ　〒321－0526　那須烏山市田野倉383
TEL：0287－88－9870　FAX：0287－88－0234

足利銀行（南那須）さん後ろ　中学生対象の補習系学習塾
歩－Ayumi－塾
☆入塾金 0円！ 新1、2年生は初月の授業料 0円！
☆小学校を卒業したら英語、数学の予習を始めませんか？
☆無料体験もあるので、まずはお電話を！
「広告を見た」とご連絡下さい
☎090－5423－4499（代表者：佐藤 諒）

シリーズ 烏山高校ってこんなところ！～地域連携活動編⑬～

JR東日本リゾートぶなからすやま運行記念イベント

4月6日㈯、「ＪＲ東日本リゾートぶなからすやま運行記念イベント」が行われました。JR烏山駅周辺で行われた烏山高校郷土芸能部によるお囃子の演奏会や、まちづくり研究会によるこども駅長制服体験などの補助、そして、山あげ会館内にて行われた茶華道部による記念茶会など、イベントを盛り上げるため烏山高校生が大活躍しました。

当日は、地元の人たちはもちろんのこと、栃木県内や、特別列車に乗り県外からも多くの人々が訪れました。このイベントをとおして烏山高校の活動や、市の魅力を広く伝えることができました。

生徒の声　3年　磯　亜衣香さん（大田原市）

山あげ会館にて、「立礼」というお点前を披露しました。お菓子は地元のものを使用し、地元や旅先のお客様が一服のお茶で疲れを癒やしていただけるように心を込めておもてなしをしました。このように地域の活動に参加し、まちの活性化に貢献できることはうれしいです。

この「立礼」というお点前は、椅子とテーブルを使用して行われるので、お茶についてあまり詳しくない人や正座が苦手な人でも、参加しやすかったのではないかと思います。

今回、他県からも多くの人が山あげ会館を訪れたので、ユネスコ無形文化遺産である山あげ祭や市について広く知っていただける良い機会でした。今回の活動をきっかけに、お茶や山あげ祭、そして烏山のことにもっと興味を持ってくれたらうれしいと思いました。

那須烏山ジオパーク構想だより㉕

～ジオガイド特集～

今回は、市内の河原で採れた貴重な化石を数多くコレクションしている化石愛好家の吉澤時明さん（鴻野山）にお話を伺いました。

Qジオパークに興味を持ったきっかけを教えてください。

私は、以前より地層・化石・石器などに興味がありました。本市が日本ジオパークの認定に向けて活動していることを知り、参加することにしました。

Qジオガイドになりたいと思った理由は何ですか？

本市には、他の地域には無いような素晴らしい自然の遺産がありますが、それを市民だけでなく、県内外の人々にも広めて行こうと考えたからです。

Q本市のジオパークとしての魅力は何だと思いますか？

中生代ジュラ紀から現在に至る長い期間の地層を見ることができることです。特に新第三紀中新世の荒川層群（海成層）は、地質の専門家の間では大変貴重な場所であるそうで、学術的にも価値のある場所です。

Qお気に入りの市内ジオサイトとその理由を教えてください。

荒川流域の各ジオサイトです。小塙・大里・高瀬地区の荒川流域で見られる、海の時代、海底に砂や泥がシマ状に何層にも堆積した状態と、ミニグランドキャニオンを彷彿とさせる崖の景観が良く、気に入っています。

クジラの化石を持つ吉澤さん。

編集　那須烏山市総合政策課
〒321-0692　栃木県那須烏山市中央1丁目1番1号
☎0287-83-1112